

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	ポンプ車で圧雪、凍結している道路を走行中に、路肩から転落しそうになった事例。
3. 体験した事例の中心的要素	前日の火災現場で、煙が出ているとの通報により、現場確認のためにポンプ車で出動したもの。現場付近の路面状況は、圧雪状態で凍結路面であった。道幅が狭く急な下り坂で、減速するためにブレーキを踏んだところ、タイヤがロックしてハンドル操作が出来ない状態となり、ポンプ車は滑りながら、約10m坂を下ったガードレールが設置されていない谷側の路肩で停止し転落を免れた。
4. 体験した事例の原因・理由	・危険予知不足

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年12月31日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	雪
3. 発生した活動現場	屋外：道路(圧雪、凍結した急な下り坂)
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落、激突
7. 事例体験時の活動	その他:
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：警戒出動(ポンプ車運転走行中)
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[25]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[6.5] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[24]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 [], 任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	小隊長と当事者Bが乗ったポンプ車の機関員として出動する	
経過2	当事者A	現場近くで車両を止めて小隊長から車両部署位置の指示を受ける	小隊長は下車して現場確認に向かった
経過3	当事者A	当事者Bを乗せ車両を部署位置へ進める	
経過4	当事者A	急な下り坂でブレーキを踏む	
経過5	当事者A	タイヤがロックして滑り出しハンドル操作が出来ない状態となった	
経過6	当事者A 当事者B	当事者A及び当事者Bが乗っていた車両は約10m滑り続けて路肩で停止した	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

民家

民家

至災害現場

進行方向

平らな道路(圧雪・凍結)

約10m

林(山側)

急な下り坂(圧雪・凍結)

林(谷側)

